

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H30.10.24 13:30～15:24)

会場(ほんめ町ふれあいセンター)

テーマ(当町のまちづくりについて・高齢者福祉対策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	耕作放棄地が増え、シカやイノシシによる被害が増加している。今回の災害による土砂崩れでネット柵が崩れ、新たに設置しようとしても、まだ土砂が残っているので手につけられない状況にある。早急にネット設置ができるよう復旧をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の災害で、有害鳥獣防護柵の被害に対する補助金はないのが現状である。今後、産業建設常任委員会で議論していきたい。 ・有害鳥獣の問題は亀岡市全域の問題となっている。猟友会も高齢化し、捕獲できない状況にある。市としては、わなも含めて研修を行い、資格をとって捕獲してもらうのが前提になると思う。柵等に関しては費用もいるので、要望していかねばならない。災害に関して倒木が多く、柵や網をしても倒れてしまい、そこからシカやイノシシが入るという苦情が出ている。災害対策に係る予算の確保に努めていかねばならない。 	産業建設		○	
2	農地をソーラーの施設に転用する案件が増えている。条例とまではいかないが、むやみに転用できない仕組みづくりをしてほしい。現段階で、転用案件に関しての意見が何かあれば。	現在、太陽光発電設置条例を、調査研究中である。	環境厚生	○		
3	亀岡市学校規模適正化の中で、育親中学校区については、中期的取組みにおいて、今後3～6年程度で問題が生じると予想されている。学校の問題について解消していくとされていたが、2年経過した現在も進捗がないように思われるが、どうなっているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・短期的取組みについても課題が残っており、中期的取組みに着手できていないのが実状であるが、計画を明確に示せるように教育委員会にも申入れていきたい。 ・亀岡市においては、行政が学校規模適正化について地元説明を行って投げかけているが、地元提案型で意見を提示されている地域も存在する。そういう形であればスムーズに行政と地元の思いが一致し、取組みの進行につながるのではないか。 	総務文教	○		
4	災害対策について、今年は台風が頻発した。短期間であれば食事等についても自助努力で何とかできるが、長期間に及んだ場合はそうも言ってもらえないと思う。それに対して支援できるようなよいアイデアはないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・長期化対策については、これからも議論が必要であり、体制についても現状では整備されていない。さまざまな意見を提案していただき、よりよい環境整備に努めていきたいと思っている。先の台風で課題となった独居の人の情報共有が平時において不十分であることへの対策については、議論が開始されたところである。 ・あくまでも参考情報であるが、篠町西山区においては緊急車両で400食分を配食された例もあり、要請すれば市として届けることは可能であると思う。 	総務文教	○		
5	避難時の備蓄について、使用済み毛布はクリーニングするよりも新品購入の方がコスト面で有利となるため再利用されず、その都度使用済み毛布が溜まってくるという課題がある。何か対策を考えてほしい。		総務文教	○		
6	高齢者がより参加しやすい、区単位での集まりやサークルを作ることが災害対策等にもつながる。より参加しやすい環境づくりとして、フリー乗降区間を設けたバスの運用があったと思うが、そのように高齢者が動きやすくなる仕組みづくりを発信していきたいと思うので、市としても前向きに検討してほしい。	公共交通で補えない部分については、福祉交通、タクシー等さまざまな対応策があると思われるが、まずは空白地域の解消が先決であり、このことについては交通の話題として挙がってくると考えている。	公共交通対策	○		
7	フリー乗降区間は現在においても残っているのか。	現在は、フリー乗降区間は運用されていない。	公共交通対策	○		
8	西部地区のような救急車両の到着に時間がかかる地域について、消防施設を設けてほしい。	2市1町で議論し理解を得ることが必要であるが、議会としても申入れを行っており、市長も前向きに検討している段階である。今後も事あるごとに要望していきたい。	総務文教	○		
9	京都新聞に、立地適正化計画に関する記事が掲載されていたが、市議会として本梅町や郊外地域のまちづくりの方向性をどう見ているかを聞かせてほしい。	コンパクトシティの考え方と郊外地域を特区的なものとして扱う考え方を同時並行で対応していく必要があると考えており、また、地元住民ともまちづくりについて十分な協議を重ねていきたい。	産業建設	○		